

区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

巻 頭 言

東京 2020
オリンピックボランティア

原 田 直 己
(原田外科・整形外科 院長)

この巻頭言を書いている時に安倍首相の「緊急事態宣言」が発表されました。12月に中国で発生した新型コロナウイルス感染症はWHOの最初の予想よりも強大になってとうとう世界中を巻き込んでしまいました。我々医療関係者も全力で新型コロナウイルス感染症の治療に当たっていかねばなりません、私の医院は外科が専門のため内科系の先生のように新型コロナを見る機会はほとんどありませんが、趣味の方ではコロナのために軒並み計画が狂ってきております。

3月上旬に救護係で参加を予定していたマラソン大会が 1月下旬には大会中止となったのに続いて、楽しみにしていたオリンピックメディカルボランティア参加もオリンピック延期により今年は無くなってしまいました。

東京 2020 ボランティアには、活動場所により Field Cast (大会スタッフ) と City Cast (都市ボランティア) がありいつでもどこでも「おもてなし」を通して日本の良さを知って貰うように準備されています。

Field Cast 中でも我々にも関係あるメディカルボランティア (MV) は属しており、大きく2つのグループに分かれ、一つは観客を対象としたもので主に東京都の医師が担当す

るものと、もう一つは選手・監督・大会関係者を対象とするもので、私はこちらで出務します。東京都の担当するものの参加日数規定は知りませんが、私の出務する方は最低1週間連続して出務する事が要請されています。MV は医師だけでなく、看護師・理学療法士・検査技師・救急隊員・など医療を担う各種の職種の人たちと大会ボランティアで構成されています。MV の人たちの経験・専門領域は様々ですので、一定の(救急)医療水準にするために、事前に CPR・AED の実技練習やインターネット学習などの講習を受ける事が求められ、私も実技には参加しましたが、そのあとの講習はオリンピック延期のため実施計画は白紙の状態となりました。

さらに、これらの人たちは競技団体の推薦の有無によりの2つのグループがあり、推薦がある人たちは推薦競技団体の競技に優先的に配属されますが、推薦の無い人の配属先は大会実行委員会が会場・競技種目・確定している MV の人数などにより決めて行く事になります。

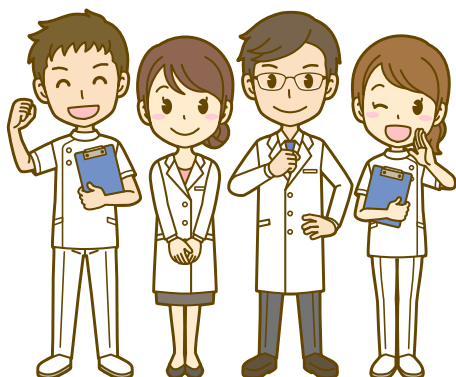
私の推薦団体であるカヌー競技はスプリント・スラローム・パラカヌーの3つのカテゴリーがあり、私はこの全ての競技で医務委員をします (合計で3週間出務になります)。スプリントとパラカヌーは海の森水上競技場のコースのゴール近くにある艇庫の端にあり



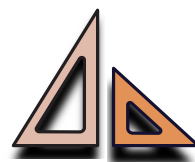
ます。医務室に診察、処置室、経過観察用のベット4台と便所がありますが、診断設備はエコーやレントゲン撮影装置は無く、五感と経験を駆使した1次救急のみで選手や大会関係者の初期対応をします。詳細な診断を必要とするときには協力病院に救急搬送しなければなりません。救急車は大会期間中は常時会場に待機しており、必要な時には直ぐに搬送が出来るように準備されています。スラロームの医務室にも同様のものが準備されることになっていましたが、建設業者が倒産し昨年の夏には仮設でお茶を濁していたので正式の医務室は使用していませんが今頃は出来ていると思います。

競技会のMVは医療が必要となる事はめったに無いので、試合をまじかで観戦できるように思われますが、医務室はスタンドの下やすこし離れた所にありその部屋から動く事も出来ないため試合は部屋でのTV観戦になります。

日本での新型コロナ感染症は現在外出制限も出されており、欧米のように爆発的な広がりには生じていないので、このまま年内に鎮静化し来年には東京でオリンピックが開催されることを祈っています。



理事会報告



◎令和2年度4月定例理事会

日時 令和2年4月24日〈金〉

コロナウイルスの感染症の影響により緊急事態宣言下であるため会合は行わず、メールにて議決した。

協議事項

1. 定時総会の日程変更について

＜澤井会長＞

前回の理事会にて5月23日〈土〉午後2時と決定したが、他の会議が中止や予定変更となり、5月30日に開催可能となった。よって、準備に時間的余裕のできる30日〈土〉午後2時としたい。

協議の結果、5月30日〈土〉に変更することに決定。

2. PCR検査外来への出務医師について

＜澤井会長＞

4月16日〈木〉に府医より、PCR外来を設置した場合の当医師会の協力可否について、問い合わせがあり、会長副会長で相談の上、「協力可」と返事。その後、4月22日〈水〉に出務要請があり、場所は大阪市内に1か所、保健所から指示された感染の疑いのある患者さんのPCR検体を摂取するとのこと。検体摂取に係る資材は全て用意されており、医師2人体制、午後2時から4時までが出務時間である。

4月23日〈木〉から開始され、本会には5月2日から6日までのどこかで3コマ(1コマ2時間)の出務依頼があった。詳細(いつ、どこで、出務費、補償等)は、府医より後日連絡がある。

連休中に出務医師(延べ3名)について会

長、副会長で協議を行った結果、まずは役員内で公募し、詳細について連絡を受けた後、出務医調整を行う。選定については会長副会長に一任願いたい。
また、5月7日以降も出務依頼があれば会員への協力依頼を検討したい。

協議の結果、次のとおりに決定。

5月2日：有田副会長

5月4日：久保田副会長

5月6日：澤井会長

3. 本会備蓄のN95マスクと防護服の取り扱いについて <澤井会長>
N95マスク90枚、防護服着10着の備蓄があった。すでに使用期限(15年前)が過ぎているものと思われるが取り扱いについて、役員からの意見を元に検討するが会長副会長に一任願いたい。

協議の結果、浪速区内の病院に希望を伺い、希望される病院で分けてもらうことに決定。

4. 大阪府医師協同組合第18期総代選出について <澤井会長>
3月2日～3月12日の間に回答を求められていたため、前期同様有田副会長に承諾を得、報告済みである。
任期 令和2年5月1日～令和4年4月30日まで

協議の結果、了承。

5. 大阪府医師国民健康保険組合次期就任組合会議員について <澤井会長>
標記議員について選出したい。
前期は徳田副会長。徳田副会長にお願いしたい。
任期 令和2年5月1日～令和4年4月30日まで

協議の結果、了承。

6. 令和2年度大阪市がん診療ネットワーク協議会委員について <澤井会長>
標記議員について推薦したい。
前期は久保田副会長、任期は1年間。久保田副会長にお願いしたい。

協議の結果、了承。

7. 医師会事務局の就業時間(4月20日～5月6日)について <澤井会長>
緊急事態宣言下の5月6日までは、終業時刻を1時間繰り上げ、午前9時30分～午後4時としたい。会長副会長で承認し、現在実施中である。

協議の結果、了承。

8. Web会議の検討について <澤井会長>
今後、理事会をWebで会議が開催できるよう(最速5月)準備を始めたい。
アプリは、Zoomを使う予定。

協議の結果、5月理事会ではZoomを使用しての会議ができるように、有田副会長と久保田副会長が中心となって進めていくことに決定。

9. レクレーションについて <川田理事>
資料のとおり、詳細をまとめた。

協議の結果、了承。

10. 令和元年度決算・事業報告(公益目的支出計画実施報告書)について <木田理事>
資料のとおり、決算、事業報告をまとめた。

協議の結果、事業報告、事業計画の一部を修正することとなった。

11. 定時総会(役員選挙含)の開催・役割分担について <入野理事>

総会当日は、コロナウイルス感染症の影響を鑑み、最少の人数で開催することに決定。

よって会員には、委任状の提出をお願いする。

当日の役割分担から、現会長・副会長・監事の6人、新役員、入野庶務担当理事、木田会計担当理事、中村庶務・会計副担当理事、議長・副議長で開催することとする。

12. その他

なし。

次回理事会

令和2年5月22日〈金〉 午後8時～

6月度学術講演会の お知らせ

6月の浪速区医師会講演会はコロナウイルス感染症の影響を鑑み中止となりました。

浪速区医師会 活動の伝言板

令和2年6月の各業務の出務予定は次のとおりです。ご協力のほどよろしくお願いいたします。

3ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

6月25日〈木〉午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

1歳6ヶ月児健康診査

●保健福祉センター

6月4日〈木〉午後1時40分～3時30分

小児科 川田 信哉

BCG接種

●保健福祉センター

6月18日〈木〉午後2時～3時30分

本田 秀明・木村 暢佑

急病診療所出務

●中央急病診療所

6月11日〈木〉深夜22:00～30:00

篠原 嘉

医師年金のおすすめ

日本医師会 おかげでまぐ 50周年

医師には医師専用の 「医師年金」があります

医師年金 検索 <http://nenkin.med.or.jp/>

医師年金について詳しく知りたい

医師年金ホームページをご覧ください。
または、下記までお問い合わせください。
公益社団法人 日本医師会 年金・税制課
TEL: 03-3942-6487 (平日9時半～17時)

受取年金額を知りたい

医師年金ホームページでご加入時の受取年金額のシミュレーションができますのでお試しください。
<医師年金ホームページ> トップページ> シミュレーション>

日本医師会に入会したい

入会手続きは、所属医療機関のある市区医師会を通じて行いますので、直接お問い合わせください。
医師年金は「日本医師会」で、「64歳6ヶ月未満」の方がご加入いただけます(お申込みは64歳3ヶ月まで)。

20171101510



浪速区在宅医療・介護連携相談支援室 からのお知らせ

4月の相談件数は3件でした。在宅医に関することと、新型コロナウイルスに関する相談でした。4月に入り保健所から新型コロナウイルス疑いの方に、近隣診療所に行くように言われて来院される患者様が増えました。診療所は感染外来の体制にない為、院内感染が起こることから保健所と区役所に近隣の診療所に行くように説明することはやめてほしいと伝え電話対応での診療が増えました。医療介護共に診療、介護支援に自粛の影響が出ている様です。

在宅医療、介護において何か困ったことや問い合わせ等ありましたらご連絡ください。よろしくお願いします。



相談受理実績

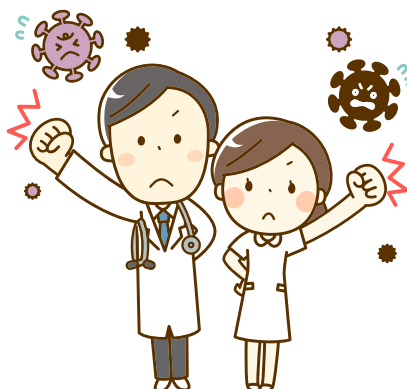
■ 個別ケースに関する相談（R2.4月度）

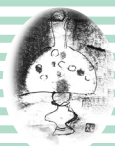
① 医科	0件
② 歯科	0件
③ 薬局・薬剤師	0件
④ 病院 地域連携相談室	1件
⑤ 訪問看護	0件
⑥ 介護支援専門員	2件
⑦ 地域包括支援センター	0件
⑧ ⑥⑦以外の介護関係事業所	0件
⑨ 認知症初期集中支援チーム	0件
⑩ 他区在宅医療・介護連携支援室	0件
⑪ 区役所・保健福祉センター	0件
⑫ 区民	0件
⑬ その他（ ）	0件
合 計	3件

■ 相談内訳（重複有）

① 医療	① 診療所・医師に関して	1件
	② 訪問診療できる医療機関に関して	0件
	③ 病院（入院・転院先等）に関して	0件
	④ 歯科に関して	0件
	⑤ 薬局・薬剤師に関して	0件
	⑥ 訪問看護に関して	0件
	⑦ 医療の手続きに関して	0件
	⑧ その他	0件
② 介護	① ケアマネに関して	2件
	② 地域包括支援センターに関して	0件
	③ 介護事業所等に関して	1件
	④ 介護の手続きに関して	0件
	⑤ その他	0件
	③ 退院支援に関して	0件
	④ 看取りに関して	0件
	⑤ その他（内容： ）	0件
	合 計	4件

<お問合せ> 浪速区在宅医療・介護連携相談支援室
〒556-0022 大阪市浪速区桜川 4-11-16 アリタビル50B
TEL:070-1760-4964 FAX:06-6567-8058





あとがき

藤吉 理夫

★毎年、5月のあとがきは、「ゴールデンウィークはいかがお過ごしでしたでしょうか」ではじめているのですが、今年は皆さんステイホームで片付け、読書、ビデオなどで楽しめましたでしょうか。

★非常事態宣言が出されて1ヶ月以上が経ちました。その効果があつてか7日連続大阪モデル基準(新規の感染経路不明者数 10人未満、PCR陽性率7%未満、重症患者用の病床使用率60%未満)を達成して、5月15日から一部緩和されています。患者さんが、「通天閣が緑にライトアップされて嬉しくなりました」と言っておられました。浪速区のシンボル通天閣が久々に全国レベルで発信されました。

この間、ホテル(浪速区にも数軒あるWBF)、衣料(レナウン)が倒産、レストラン(ロイヤルホスト)が一部閉店など、経済的な打撃はリーマンショックの非にならない状態です。医療機関においても風邪症状の自宅待機、慢性疾患患者の受診控え、検診受診控え、電話再診、長期投与、などで経営上打撃を受けています。4月の保険診療振り込みが6月ですから、医療機関の倒産が今後出てくる可能性があります。売り上げ減少に対しての融資がいくつかあり、先日医師会から一覧表をいただきました。これを活用しないといけません。

★巻頭言では原田先生が東京オリンピックにメディカルボランティアで参加される予定であったとのこと。何年もかけて準備されたことと思われます。本当に残念ですね。オリンピックは2021.7.23開幕予定となりました。ワクチン開発、治療法の確立により開催され、来年原田先生から参加されたお話を是非伺いたいです。

★非常事態宣言が解除となっても、医療機関

での発熱・感冒症状患者さんへの対応が現状のままとなると、冬場にインフルエンザが流行ってきた場合、全て問診で判断して抗インフルエンザ薬を処方するのか、検査するならPPEをきっちりする必要があるのか、ガウンも揃える必要があります。これから冬を迎えるオーストラリアでは、多くの国民がインフルエンザワクチン接種をすることで医療機関がコロナウイルス対策に集中できるようにワクチンを増産しているそうです。日本でもできるだけ接種するのが望ましいですね。

★連休中にみた ETV 特集「パンデミックが変える世界」より(イスラエルの歴史学者のユヴァル・ノア・ハラリ氏)信ずるべき情報を慎重に吟味し科学に基づいた情報を信頼すること、そして科学的な裏付けのある指針を実行することです。市民が科学的な指針に従えば緊急時の独裁的な手段をとる必要性が少なくなります。結末を選ぶのは私たちです。



目次	ページ
巻頭言	
東京2020オリンピックボランティア	
原田 直己	1
理事会報告(4月開催)	2
6月度学術講演会のお知らせ	4
浪速区医師会活動の伝言板	
浪速区在宅医療・介護連携相談支援室からのお知らせ	5
あとがき	6

【区医だより】

発行者 澤井貞子
編集者 中村泰久 藤吉理夫
印刷所 株式会社 サビ